



平成28年1月29日

各位

上場会社名 ホシザキ電機株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 坂本 精志
 (コード番号 6465)
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己
 (TEL 0562-96-1320)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	259,000	29,000	30,500	17,500	241.80
今回修正予想(B)	260,000	31,650	30,800	16,900	233.48
増減額(B-A)	1,000	2,650	300	△600	
増減率(%)	0.4	9.1	1.0	△3.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	233,252	26,984	31,235	15,011	207.65

修正の理由

通期連結業績予想数値の修正

当連結会計年度は、国内において、景気回復の継続を追い風に、フードサービス産業全体の設備投資が好調に推移いたしました。このような状況の下、当社グループは既存顧客との関係強化及び新規顧客の開拓に積極的に取り組むことにより、主力製品及び戦略商品の販売が好調に推移いたしました。海外においては、中国など一部エリアで需要停滞が見られたものの、米国の景気回復の継続により製氷機及び業務用冷蔵庫の販売が好調に推移いたしました。

また、国内、海外において、原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減などを図り、利益の捻出に努めてまいりました。

一方、期末に向け円高が進んだことに伴い、営業外費用として、保有外貨資産などの円換算評価に係る為替差損を約15億円計上する見込みです(前回発表予想時の為替差益計上見込み額約9億円、前期通期の為替差益計上額約33億円)。

また、特別損失として、ブラジル所在グループ会社Acos Macom Industria e Comercio Ltda.(以下Macom社)の取得に伴い発生したのれん及び無形固定資産につきまして、のれん償却額と減損損失を合わせて約18億円を計上する見込みです。ブラジル経済の低迷は想像以上に厳しく、回復の予兆が見出せない中、Macom社の資産の再評価を実施した結果、のれん及び無形固定資産について減損損失等が発生する見込みとなりました。

これらに伴い、売上高及び営業利益において、前回発表予想時の通期連結業績予想を上回るものの、当期純利益において、通期連結業績予想を下回る見込みとなりましたので、合わせて通期の連結業績予想を修正いたします。但し、当期純利益について、前期連結業績実績(平成26年12月期)に対しては上回る見込みでございます。

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実績等が見通しの数値と異なることが有りますことをご承知おき下さい。

以上